

(様式2)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立宇和島水産高等学校

学校番号(41)

評 価 実 施 日		令和7年2月26日(水)	
委員	氏 名	所 属 等	備 考
	谷 本 治	学校評議員、宇和島地区少年警察ボランティア協会	
	藤 堂 典子	保護者代表、PTA会長	
	渡 邊 昭生	学識経験者、愛媛県農林水産研究所水産研究センター長	
	広 沢 初志	地域代表、愛媛県漁業協同組合宇和島支所 副運営委員長	
	脇 本 俊二	中学校関係者、宇和島市立城東中学校長	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
1 今年度の最終評価について (1) 学習指導 学習時間の習慣化については、昨年度と比較してあまり伸びていないように感じる。家の手伝いや習い事など勉強だけでは評価できない面もあると思うので、様々な面で生徒を成長させてほしい。校内テストの結果については、生徒はもちろん先生方の頑張りが伺える。継続をしてほしい。楽な方に引っ張られる生徒もいると思うが、自分の目標を見つけられるよう指導していただきたい。 (2) 生徒指導 1年生の退学者が多いことが気になった。それに対して2、3年生は退学者がいないので良かったと思う。以前と比べると皆勤率が下がってはいるが、それでも皆勤の生徒が多いように思われる。引き続き指導をお願いしたい。 水産高校の生徒は以前と比較して、挨拶もよくしてくれるなど、すごく良くなってきている。 (3) 進路指導 卒業生の60%が水産・海洋関連業界へ就職しており、素晴らしい。今後の就職に大いに期待している。 進学についても、4年制大学進学者がおり、よく頑張っている。大学に進学している卒業生も活躍している。大学へ行きたいという生徒のために、先生方も尽力してくださる。それが中学校にも伝わっている。皆が入りたいと思う学校になっているので、これからも期待している。 (4) 業務改善 校内外でいろいろと忙しいことと思うが、生徒のためにも継続して働き方改革に取り組んでほしい。	特に平日や休日の家庭学習について、資格や校内テストの勉強を行わせるなど継続して指導していきたい。校内テストについては、1年生で共通のプレテストを行うなど、小テストに取り組む意識を高められていると感じる。しかし、生徒間の点数差が大きいため、今後は放課後等も利用して指導していきたい。 今年度は、有職青年と付き合うことにより、勉強に身が入らなくなったことが原因で退学する生徒が増加した。 目標なく入ってきた生徒が心配であるが、魅力のある取組を続けていくとともに、学年団を中心に生徒本人に注意喚起し、家庭ともしっかり連携していきたい。 進路については、1年生からの意識付けが大切であるので、早めに具体的な目標を設定させ、学年、教科担任、進路課等で連携して、必要な対策を進めたい。就職においては、3年間学んだ専門分野を生かした就職先に就くことや、水産業に携わって地域を支えていくことの大切さなどを継続的に伝えていきたい。進学においては、特に4年制大学への進学には学力が求められるため、必要な学力を身に付けられるよう、1年生から継続して指導していく必要があると感じている。 一人1台パソコンや校務系ネットワークの更なる活用と業務の平準化に努めるとともに、教職員全員が有給休暇を取得できるよう環境改善に努める。教職員のメンタルヘルス改善のための声かけや健康相談の機会をこまめに設けるよう努める。
2 学校教育活動について 出前授業や食育教育活動、海洋環境の改善など、様々なところで生徒が活躍してくれている。今後も引き続き、地域と連携して活躍して欲しい。	今後も地域や企業等と連携し、負担が大きくなりすぎないように考えながら、積極的に取り組んでいきたい。
3 学校運営への提言 学校の魅力を全国にアピールして生徒を集め、水産・海洋関連産業を支える人材を育成して欲しい。	本校は変革の時期を迎えている。これをチャンスと捉え、宇和島市と連携しながら本校への期待や御支援に応えられるよう努力していきたい。